

施工上の注意事項

- 塗料は全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される時は外部の塗装は避けてください。
- 素地が直射日光などで極端に熱くなっているときは、塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、さび、砂、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 水性の塗料で塗り替える場合、さびの削りカス(さび、鉄くず)は完全に除去してください。塗り替え後、さびの発生の原因となります。
- エアレス塗装する場合は、塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- 乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による艶引け現象がおこる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- 塗装時は、高いところから降り口を確保しながら塗装してください。塗りがたての面は滑りやすいので、絶対に乗らないでください。塗りが残った場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 希釈には必ず指定のシンナーを使用してください。指定以外のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈するとタレや色分けの原因になります。
- 二液型塗料を使用する場合、主剤と硬化剤の配合比は必ず守り、可使用時間内(ハイパーシーラーエポ:23℃で約7時間、ハイパーシーラーアクア:23℃で約12時間)に使い切ってください。また高温時は可使用時間が短くなるため注意してください。
- 夏場(高温下)では硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。塗り重ね時間が過ぎると、層間で密着性が低下します。塗装間隔があく場合は再び下塗りを塗装するか、ペーパーかけを実施してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 標準塗付量はハケ、ローラーの場合の値で、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。塗装方法、被塗物の形状、環境などによって増減する場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は、十分な性能が得られないことがあります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー類や上塗り塗料には防錆性がありませんので、棟など金属製でできている部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のサビ止めを下塗り後、上塗り塗装を実施してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

【救急処置】

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分換気を行ってください。
- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗いおよびうがいを十分に行い、作業着に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない一定の場所に保管してください。

- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。

【施工後の安全性についての注意】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。



ROCK PAINT

ロック水性プロテクトルーフ

水性1液リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料

ロックペイント株式会社

水性1液リアルハイブリッドシリコン樹脂 屋根用塗料

PROTECT ROOF

ロック水性プロテクトルーフ

住宅用化粧スレート 新屋根材 セメント瓦 シングル材

ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 遼正ビル201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1-1
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000番3-4
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

2022.3.8000.250N(129-M01)

水性1液リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料

PROTECT ROOF

ロック水性プロテクトルーフ



水性シリコンの
決定版

ロック水性プロテクトルーフ特長

特長 1

独自の高架橋技術により、溶剤系塗料に匹敵する塗膜密度を形成し、高耐久性を発揮します。

特長 2

HALS(ラジカル安定剤) & 特殊コーティング顔料ならびにリアルハイブリッド型シリコン樹脂塗料によって、従来品に比べ耐紫外線性能が大幅に向上しました。

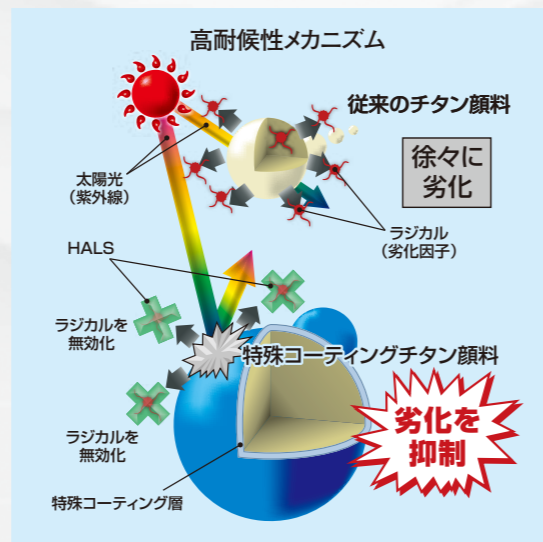
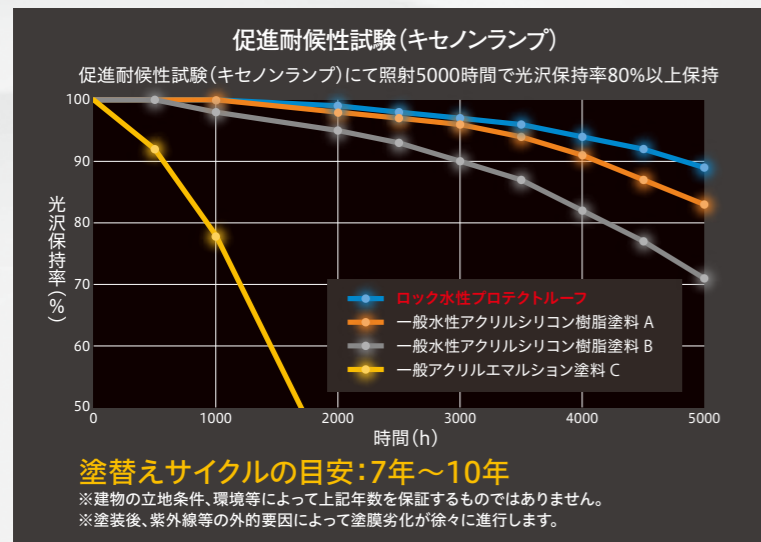
特長 3

ロック水性プロテクトルーフ サフとロック水性プロテクトルーフ シーラーを組み合わせたオール水性環境に対応した高品質な塗膜を形成します。

特長 4

化粧スレート瓦、セメント瓦、シングル材、乾式コンクリート瓦(洋瓦)など幅広い素材に適用します。

※塗装仕様書をご参考下さい。



屋根用標準色

ロック水性プロテクトルーフ

※印の色は価格が割高になります。
この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・つやに差異があります。
色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。



↑ キャメルオーカー



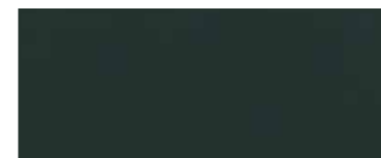
↑ ロイヤルレッド



↑ ウォルナットブラウン



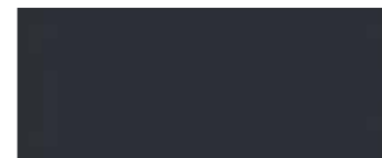
↑ ココアブラウン



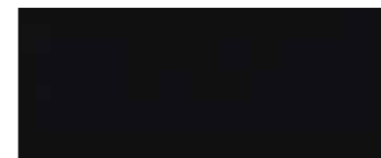
↑ ニューモスグリーン



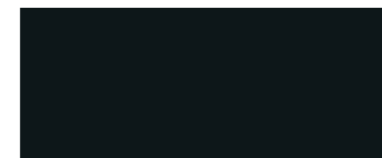
↑ グレー



↑ アイアングレー



↑ ブラック



↑ つや消しブラック



↑ つや消しアイアングレー



↑ つや消しニューモスグリーン



↑ つや消しロイヤルレッド



↑ 銀黒 B ※



↑ 銀黒 C ※



↑ ロック水性プロテクトルーフ サフ
(下地調整塗材)

●色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2025年5月)を守ってください。

製品体系

工程	製品名(系統)	容量(荷姿)	色	塗り面積 石油缶・回
下塗り	シーラー ハイパーシーラーアクア 【水性2液高付着カチオン系エポキシシーラー】	15kgセット 【主14kg 硬1kg】	透明	115~187㎡
	ロック水性プロテクトルーフ シーラー 【カチオン系1液反応硬化型合成樹脂エマルジョンシーラー】	15kg	透明	75~115㎡
	ハイパーシーラーエポ 【弱溶剤2液型変性エポキシ無機ハイブリッドシーラー】	15kgセット 【主12.5kg 硬2.5kg】	透明	115~187㎡
サフ (下地調整塗材)	ロック水性プロテクトルーフ サフ 【水性エポキシ系屋根材用下地調整塗材】	15kg	グレー(日塗工N-45近似)	18~50㎡
上塗り	ロック水性プロテクトルーフ 【水性1液リアルハイブリッドシリコン樹脂屋根用塗料】	15kg	標準色(14色)	83~100㎡ (41~50㎡/2回塗り)

●塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
●硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。

●上記塗り面積は目安であり素地の吸い込み状況・形状により増減しますので、予めご了承ください。

標準塗装仕様

工程	塗料名	塗装回数	標準塗付量 (kg/㎡・回)	希釈剤	塗装方法	希釈率 (%)	塗り重ね可能時間 (23℃)	
下地調整	各種新屋根材・セメント瓦、シングル材	高圧洗浄により、ゴミ、汚れ、こけ、カビなどを完全に除去する。高圧洗浄できない場合は、ホースで水を流しながらデッキブラシ、ワイヤーブラシなどで入念に除去する。旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分はケレン具を用いて完全に除去し、乾燥させて清浄な面とする。						
	乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦・スカンジア瓦)	高圧洗浄後、デッキブラシ等を用いて脆弱な着色スラリ層、汚れ、異物を完全に除去。 ※高圧洗浄の水圧は12MPa(120kgf/cm ²)以上/乾燥させて清浄な面とする。						
下塗り	各種新屋根材・セメント瓦	ハイパーシーラーアクア	1~2 ^{注)}	0.08~0.13	水	ハケ・ローラー エアレス	0 (通常不要)	4時間以上
	ロック水性プロテクトルーフ シーラー	1	0.13~0.20	0 (通常不要)			2時間以上	
	各種新屋根材・セメント瓦、シングル材	ロック水性プロテクトルーフ サフ	1	0.3~0.8	0~10	3時間以上		
上塗り	乾式コンクリート瓦 (モニエル瓦・スカンジア瓦)	ハイパーシーラーエポ (クリアタイプ)	1~2 ^{注)}	0.08~0.13	塗料用シンナー	0 (通常不要)	4時間以上7日以内	
	ロック水性プロテクトルーフ	2	0.15~0.18	水	ハケ・ローラー エアレス	5~15	2時間以上	
縁切り	水切り部で瓦が重なった部分は、皮スキなどで塗料除去、縁切りを行う。							

注) 各種シーラーで劣化した吸い込みの激しい素材の場合は2回塗りを行ってください。
●軽度な不陸がある各種新屋根材、セメント瓦の場合、ロック水性プロテクトルーフ サフを塗装してください。
●アスファルトシングル材の骨材の著しい割れや基材に反りがみられ劣化が進んでいる場合は、塗装できません。
●アスファルトシングル材の上塗りには、必ず艶消しをご使用ください。
●アスファルトシングル材への塗装の場合、上塗りの使用量は0.2~0.3(kg/㎡・回)になります。
●乾式コンクリート瓦はシーラー乾燥後、ガムテープを用いて付着力の確認を行い、スラリ層がガムテープに付着する場合は、再度シーラーを塗装してください。
●乾式コンクリート瓦の下塗りハイパーシーラーエポはクリアタイプのみ使用可能です。

【常備色: つや消しロイヤルレッド、つや消しニューモスグリーン、つや消しアイアングレー、つや消しブラック】